



若松小学校閉校記念事業実行委員会

事務局だより



若松小HP用QRコード

令和3年度第2号 令和4年2月24日(木) <http://wakamatu.lolita-punk.jp/>

若松の雪が例年になく多いのかと思っていたら、それどころではない大雪のニュースが各地から聞こえてくる厳しい冬となりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

さて、閉校式を迎える前に、最後の取組状況をお知らせしたいと思っていた「事務局だより」でしたが、結局この第2号で、閉校式の終了と閉校記念事業実行委員会の解散をお知らせすることとなってしまいました。事務局の勝手をお許しください。

北海道も1月27日から「まん延防止等重点措置」がとられたことから、2月1日に予定していた、閉校記念事業実行委員会の解散総会を急きょ紙面総会に代えさせていただきました。今回は、その審議結果についてもお知らせいたします。

(文責：事務局長 本谷弘之)

閉校式展の様子



晴天に恵まれた令和3年11月20日(土)の午前10時、収容人数ぎりぎりの90余名の参加者をお迎えし、閉校式典が挙行されました。子どもたちの生の声による「校歌斉唱」、児童会長のU.Y.さんによる「お別れの言葉」、そして町長への「校旗返納」と式典が進みます。



アトラクションでは、児童による「季節の思い出語り」、器楽「365日の紙飛行機」「イメージン」、そして、児童、お母さん方、教職員での合唱「ありがとう」を披露し、感動に包まれて式典は終了しました。アトラクションでは、お父さん方が裏方で頑張ってくださいました。

【せたな町立若松小学校閉校記念事業実行委員会～解散までの経過報告～】

- 令和2年3月 町議会で令和3年度末での閉校が決定。
- 6月18日 令和2年度第1回学校運営委員会
- 9月11日 第1回統合に向けた準備委員会
- 10月14日 若松小学校閉校記念事業実行委員会設立総会
- 11月9日 若松小学校閉校記念事業実行委員会に向けた準備委員会
- 11月16日 第1回実行委員会
- 11月27日 第1回役員会
- 12月1日 閉校記念事業に係る町教委との打ち合わせ（教頭）
- 12月21日 第2回役員会
- 令和3年1月13日 第3回役員会
- 1月29日 募金部、募金案内封筒詰め作業と発送。
- 2月10日 第4回役員会
- 2月12日～14日 募金部による募金徴収。
- 3月12日 第5回役員会
- 4月26日 第6回役員会
- 5月8日 大谷石材と現地打ち合わせ。除幕式は行わないと決定済。
- 6月1日 高橋塗装により看板設置完了。
- 7月1日 事業部会開催。最終原稿チェック。
- 7月6日 第7回役員会
- 8月 閉校式典案内配付
- 10月14日 第8回役員会
- 11月15日 閉校記念碑完成
- 11月20日 せたな町立若松小学校閉校記念式典開催
- 12月3日 会計監査（午前10時より校長室で）
- 12月16日 第9回役員会
- 令和4年2月1日 解散総会（紙面総会）



【会計決算報告】

<収入>

項目	予算	最終予算	増減	備考
寄付	450,000	454,000	4,000	157軒より
篤志寄付	150,000	150,000	0	若松中学校閉校事業 本を読む会
雑収入	0	2	2	利子
合計	600,000	604,002	4,002	

<支出>

項目	予算	支出	残金	備考	
事務局費	通信費	30,000	9,660	20,340	会議招集切手代等
	庶務費	10,000	5,376	4,624	事務関係消耗品
	会議費	10,000	0	10,000	会議関係消耗品
専門部費	総務部	10,000	0	10,000	会議費、消耗品費
	事業部	20,000	4,041	15,959	会議費、消耗品費 外付けハードディスク4,041円
	募金部	35,000	22,672	12,328	会議費、消耗品費、車代 ゴム印・角印1,540円 領収書 440円 切手代13,272円
その他	記念品	181,260	169,680	11,580	本体 120個×1,308円=156,960円 包装代 120個×80円=9,600円 紙袋代120枚×26円=3,120円
	記念碑	200,000	200,000	0	閉校記念銘板石工事
	アトラクション費	20,000	3,800	16,200	児童のアトラクション準備関係
予備費	87,742	70,420	17,322	Tシャツ、押し花材料、お茶、送金料	
合計	604,002	485,649	118,353		

残金 604,002 — 485,649 = 118,353

※ 令和3年12月3日、若松小学校校長室において、S.K.さん、M.M.さんに
会計監査をお願いし、「諸帳簿の正確な記載」「関係書類の適切な保管」「計画的かつ
効率的な予算執行」を認めていただいております。

紙面総会では、以下の報告を記した総会議案書について、実行委員会に携わる全委員36名中、返信をいただいた全27名の方から承認を賜りました。実行委員会規約に則ると、過半数を超える賛成を得られたため、報告は認められたこととなります。

【式典当日の実行委員の対応について】

本実行委員会設立総会后、式典当日までは、各部の活動の中で各部の部員の方々に活動のご協力をいただけてきました。しかし、式典当日は、収容人数が収容可能人数の50%という制限を守り、内容も式典のみの開催だったため、会場の混雑を避けるために、役員会と町教委職員（式典は町の行事という位置づけ）により当日の運営をさせていただきました。決して、各部の部員の方々の存在を蔑ろにしていたわけではありませんが、事前にその件について各部部員の皆さんへの周知が不足していたことは事務局の不手際でした。申し訳ありませんでした。

【閉校記念誌残部の取扱いについて】

印刷数400冊のうち、当日分（町教委、学校、式典参加者）109冊を配付しました。

案内状を出したが欠席だった方、寄付をいただいたが収容人数の関係で案内状を出せなかった方、100周年以降の旧職員その他関係者には、式典当日までに発送準備をし、式典後に175冊発送しました。合計284冊配付済となり、残部116冊は、学校、イエローパレスで保管しています。今後、記念誌がほしいという声には、送料着払いとして送付する形をとることといたしました（もちろん手渡しも可能です）。

【記念品の残りにについて】

当日の来校者に配付することとし用意した記念品の若干残った分については、実行委員以外のPTA賛助会員の方々に配付させていただくことで処理を終えました。

【道路沿い看板の撤去について】

子どもたちが学校を去る3月の修了式後に撤去をお願いすることとしました。なお、撤去後の看板本体については、原田さんの倉庫で保管していただきます。

【残金の用途について】

役員会では子どもたちのために使ってほしいという声がありましたので、学校では以下の2つの行事で支出を考えました。

- ・ 3月25日の修了式に、地域の方々をお招きし、皆でできる思い出作りを行い、本年度の卒業生も含め、地域の方々の激励をいただきながら子どもたちを本校から送り出したいと考えています。帰りにはお祝いの品を全員が持ち帰られるようにいたします。予算7万円。
- ・ 当初は、1月15日に冬休みお楽しみ会を開催し、在校生と中・高生、保護者の参加で、百人一首大会やスポーツ等で最後の思い出作りを行う予定でした。しかし、新型コロナウイルス新規感染者数の急拡大に伴い、大変残念ですが、「冬休みお楽しみ会」は中止としました。この分の予算は、卒業式終了後の飲食を伴わない「卒業を祝う会」の開催に回したいと思います。予算3万5千円。
- ・ 解散総会時に、飲み物を配付予定で1万円の支出を見込んでいましたが、紙面総会となったために総会議案配付のための切手代をそこから使用し、残金を上記二つの行事に振り分け、残金を0円といたします。

これまでのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。